修士論文要旨集原稿の書き方 ＜日本語タイトル＞

**資料M3**

How to Write an Abstract of Master Thesis ＜英語タイトル＞

T22M123 龍谷 太郎 ＜著者名＞

指導教員 龍谷 花子 教授 ＜教員名＞

1. 緒言 ＜大見出し＞

本稿では，龍谷大学大学院理工学研究科機械システム工学専攻における修士論文要旨集原稿の書き方を提示する．本フォーマット，または，これに準じる形式での要旨集原稿の提出を心がけて欲しい．（＜＞内は，MS-wordにおけるスタイル名を表す．）＜標準＞

2. ページ設定 ＜大見出し＞

2.1 ページ余白 ＜中見出し＞

ページ余白は，次の通りとする．

上: 20mm，下: 25mm，左右: 20mm

2.2 段組

また，本原稿は2段組1ページとし，段組間は10mm程度とする．

2.3 文字数

本原稿の文字数は，24字×52行程度とする．

3. フォント

本原稿における標準フォントは次の通りとする．

日本語タイトル: MSPゴシック，14pt.

英語タイトル: Times New Roman, 12pt.

著者名，教員名: MS明朝，10pt.

大見出し: MSPゴシック，10pt.

中見出し: MSPゴシック，9pt.

本文: MS明朝，9pt.

参考文献: MS明朝，8pt.

（ただし，英語表記の箇所はTimes New Romanを使用すること．）

4. 単位系

文中の単位は，SI単位系に準じたものを使用すること．

5. 数式

数式は，見やすい書式で作成すること．数式エディタを使用して作成することが望ましい．数式の後には必ず番号を付けること．

例）流量保存則より，以下の式が成り立つ．

 (1)

6. 図表

図表に関しては，モノクロ印刷で鮮明に見えるよう心がけて欲しい．図表中の単語，キャプションは，英語で書くこと（Times New Roman，9pt.）．ただし，本文中では，「図1」，「表1」の表記とする．

例）図1に，近年多く見られるハードディスクドライブ用スピンドルの構造図を示す．



**Fig. 1** A schematic diagram of HDD spindle motor with spiral-grooved bearings ＜キャプション＞

**Table 1** Specifications of the experimental apparatus

|  |  |
| --- | --- |
| Diameter | 50 mm |
| Clearance | 0.5 m |
| Velocity | 2.5 m/s |
| Acceleration | 9.8 m/s2 |
| Weight | 2.0 kg |

7. 参考文献

他の著者の文章を引用する際は，必ず「参考文献」として明記すること．書式は次の通り（全て9pt.）とする．

例）この表面処理を適用することによって，母材の摩擦係数が20%程度低下することが報告されている[1, 2]．

参考文献 ＜8pt.，参考文献見出し＞

[1] 龍谷花子, 他2名, 日本機械学会論文集A編, Vol. 10, No. 20 (2011) pp. 30-40. ＜参考文献＞

[2] 機械次郎, 表面処理入門, 理工社 (2011).

8. 質問

質問事項があるときは，

[mechrobo\_info@rins.ryukoku.ac.jp](mailto:mechrobo_info@rins.ryukoku.ac.jp)

まで問い合わせて下さい．